

SonicXQ v1.0 製品紹介

「サービスベースアプリケーション」プラットフォーム

株式会社オージス総研
eソリューション事業部

<http://www.ogis-ri.co.jp/otc/>



Agenda

■ サービスベースアプリケーション

- SonicXQ概要
- ビジネスプロセスフレームワーク
- プロトコルハンドラ
- JCAサポート

サービスベースアプリケーション

- サービス
適切な粒度のビジネスロジック要素
異なるシステム環境、インターネット上に分散
– 例) Webサービス
- サービスベースアプリケーション
サービスの組合せ



ビジネス用途に耐えうる
プラットフォームが必要

Agenda

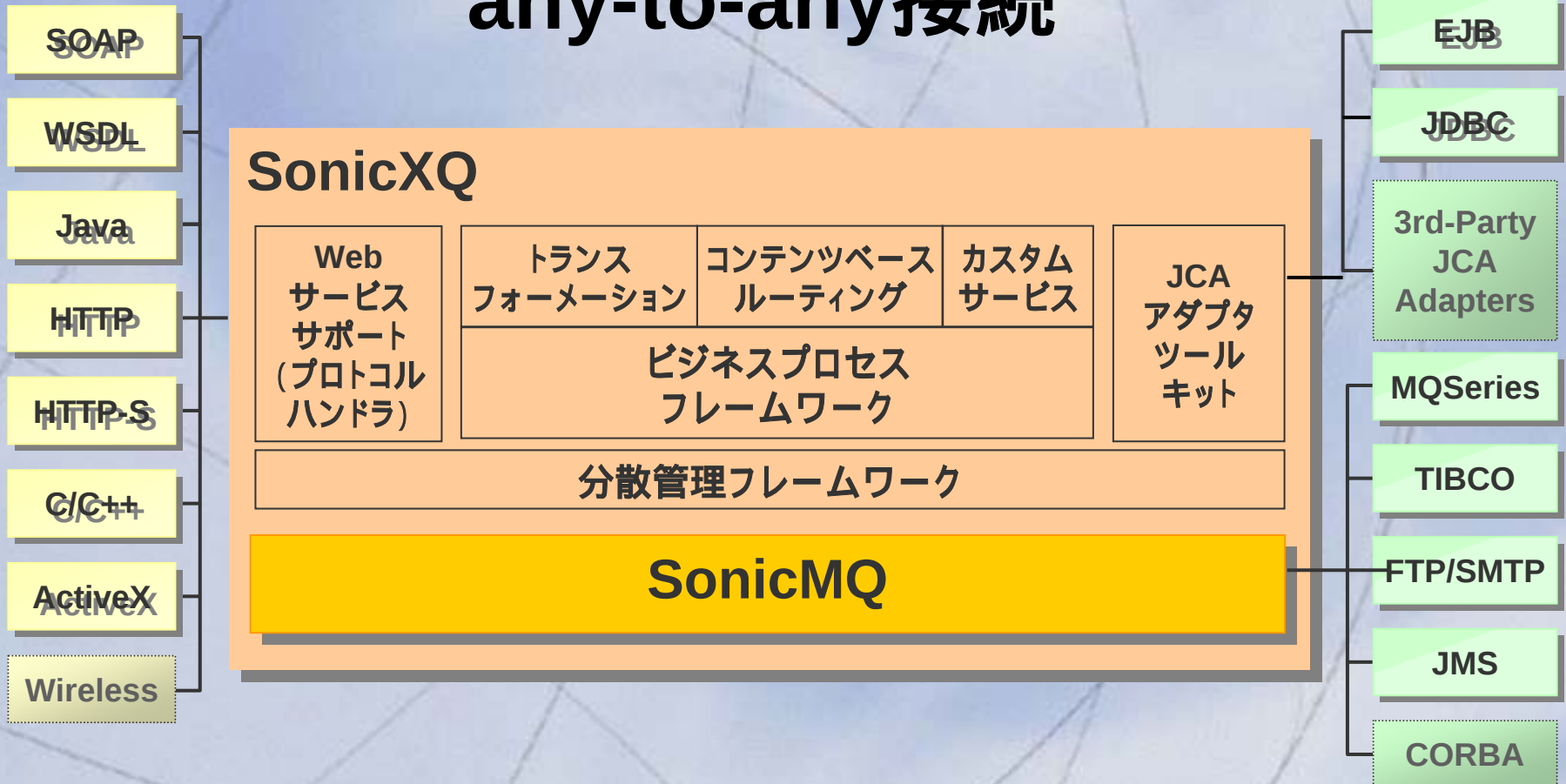
- サービスベースアプリケーション
- SonicXQ概要
- ビジネスプロセスフレームワーク
- プロトコルハンドラ
- JCAサポート

SonicXQとSonicMQ

外部

内部

any-to-any接続



SonicXQ概要

- 最小限のコーディングで分散アプリケーション構築
- コーディングはビジネスロジック中心
- 既存システムの手換えなしで、ビジネスプロセス、トポロジを柔軟に変更可能
- ビジネスプロセスをWebサービスとして公開する方法を提供
- エンタプライズアプリケーションとの統合を容易に
- 配布と管理を容易に

SonicXQ - 主な機能ー

「サービスベースアプリケーション」プラットフォーム

- プロトコルハンドラ
 - SOAPドキュメント、JMSメッセージ送受信
- ビジネスプロセスフレームワーク
 - スタンドアローンアプリをサービスとして呼出・実行
 - 2種類の汎用サービス
 - カスタムサービス
- JCAサポート

サービス間はメッセージで連携
メッセージングバックボーンにSonicMQを使用

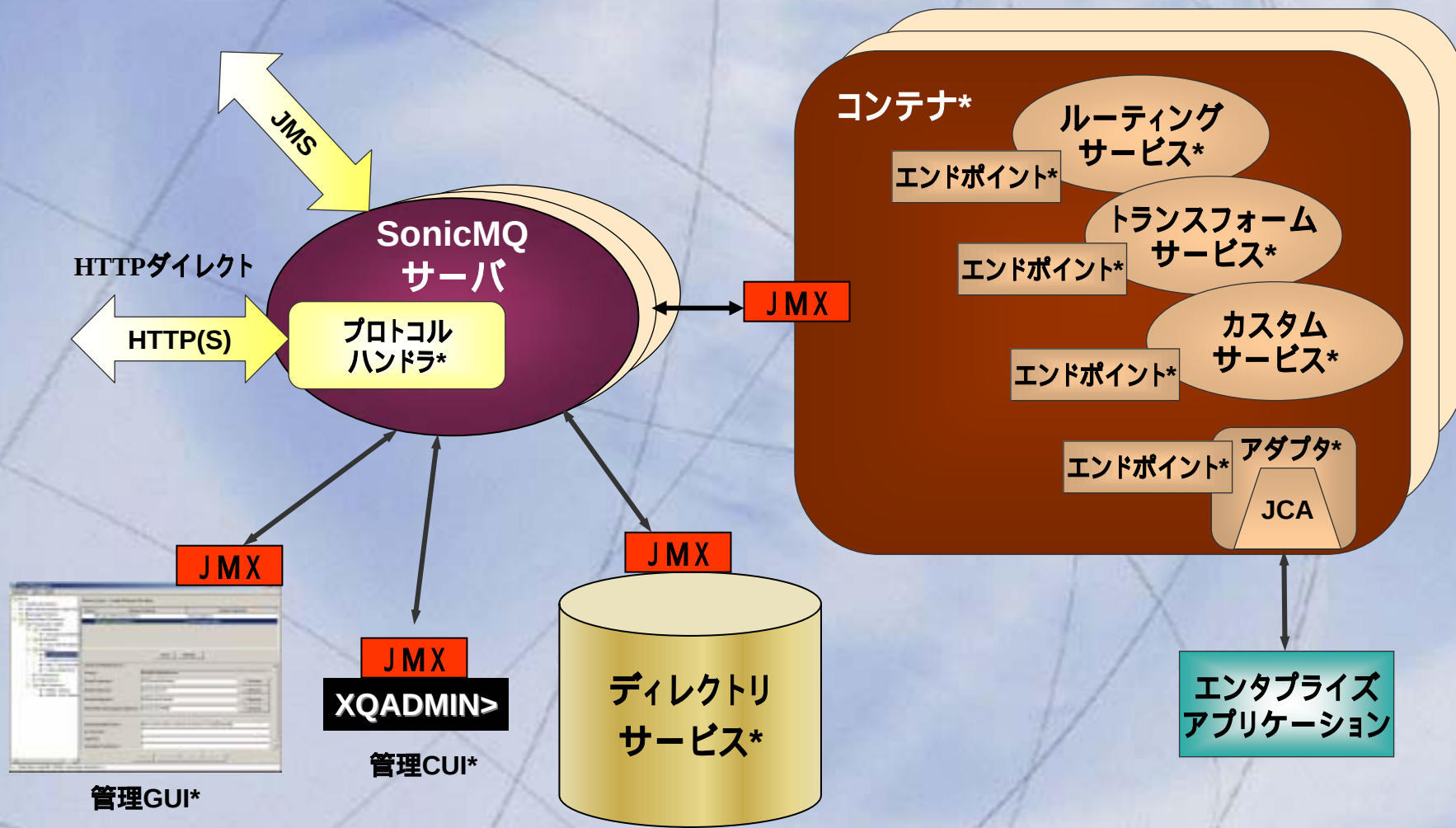
SonicMQ概要

*JMS準拠 e-business*メッセージングプラットフォーム

- JMS(Java Messaging Service)
エンタープライズメッセージングAPI仕様
- JMSとして初めてJ2EE互換性テストをパスしたJMS実装製品
- 特徴
 - 高い信頼性と最高のパフォーマンス
 - セキュリティ
 - インターネット標準への適応
 - 柔軟性と様々な拡張機能

開発元URL: <http://www.sonicsoftware.com/>

SonicXQコンポーネント関連図



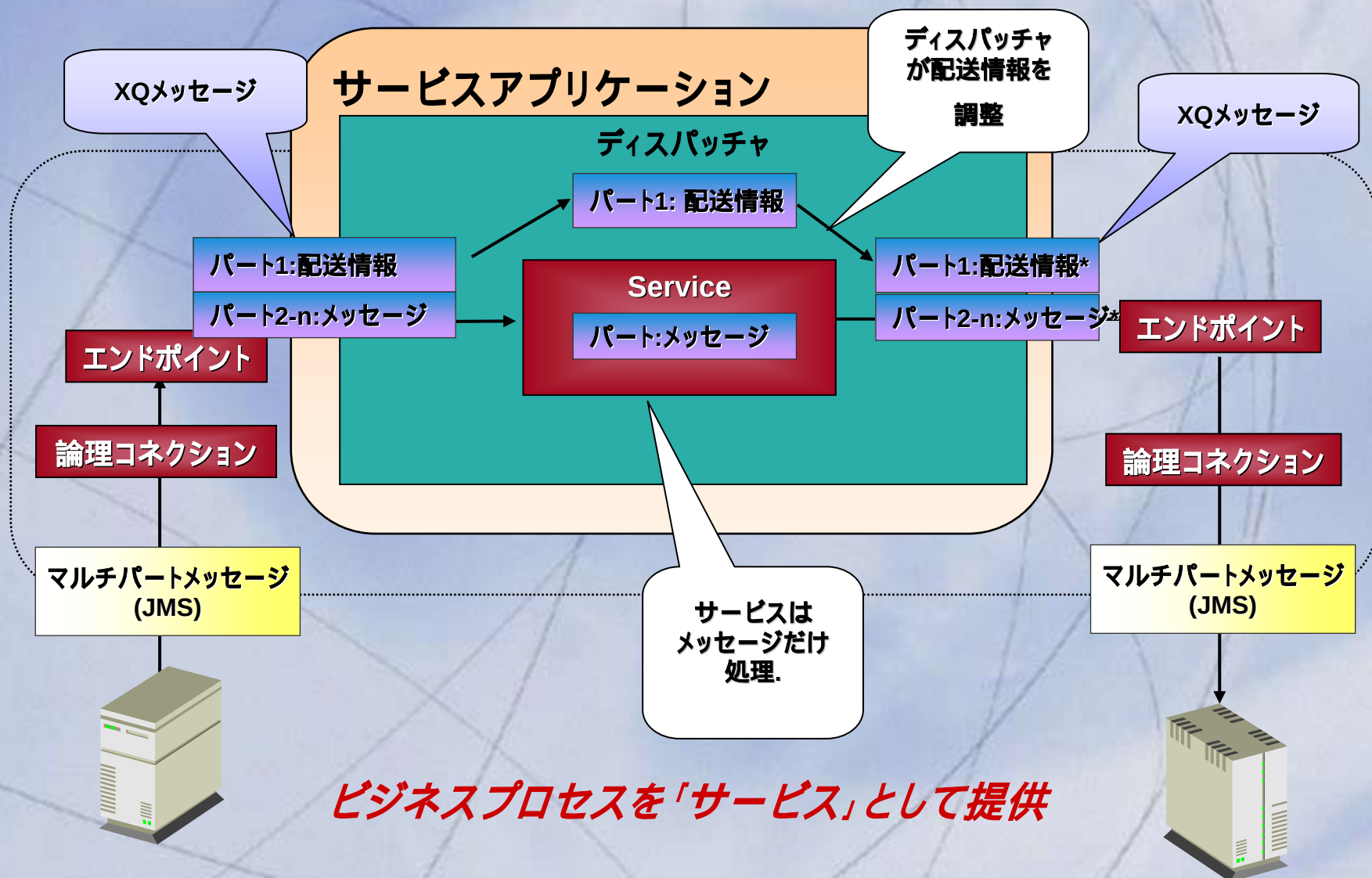
JMX(Java Management eXtension)による分散管理フレームワーク

*: XQコンポーネント

Agenda

- サービスベースアプリケーション
- SonicXQ概要
- **ビジネスプロセスフレームワーク**
- プロトコルハンドラ
- JCAサポート

ビジネスプロセスフレームワーク



ビジネスプロセスを「サービス」として提供

ビジネスプロセスフレームワーク

- 特徴
 - JMSメッセージセクタ
メッセージのプロパティ、ヘッダ部分のみ参照
 - SonicXQ
メッセージ全体を参照可能
- 汎用サービス
 - コンtent・ベース・ルーティングサービス(CBR)
 - トランスフォーメーションサービス(Xform)
- カスタムサービス
 - サービス用APIを提供
- WSDL生成

コンテンツベースルーティング(CBR)サービス

メッセージの経路決定のためのサービス
XPath(XML Path Language) 技術を応用

- 主な特徴 -
 - ルールベース
 - JavaScriptで記述
 - 単一インスタンス
 - オブジェクト・プーリング
 - リエントラント
 - ルール・キャッシング

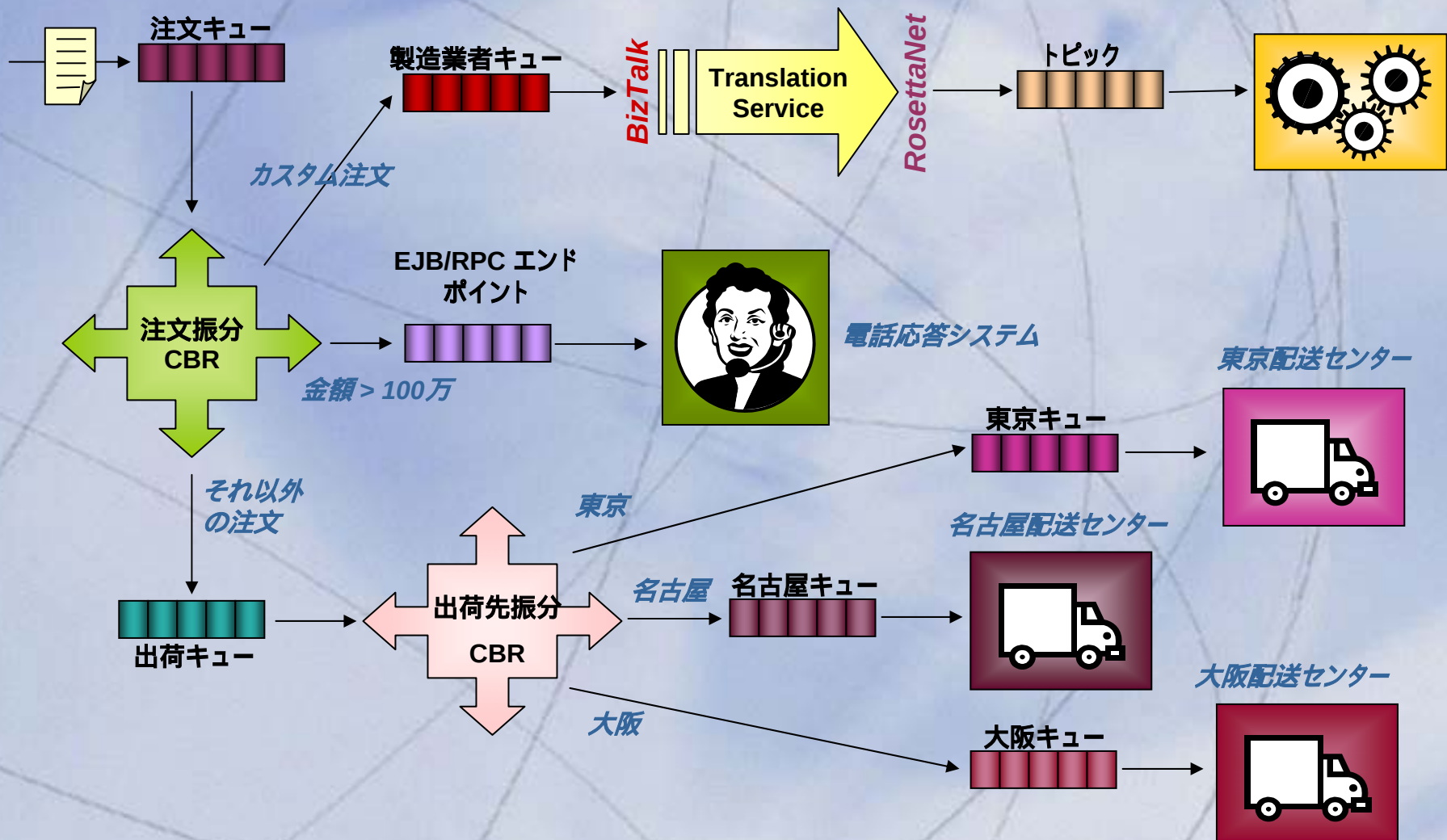
トランスフォーメーション(XForm)サービス

メッセージフォーマット変換を行うサービス XSLT 技術を応用

- 主な特徴 -

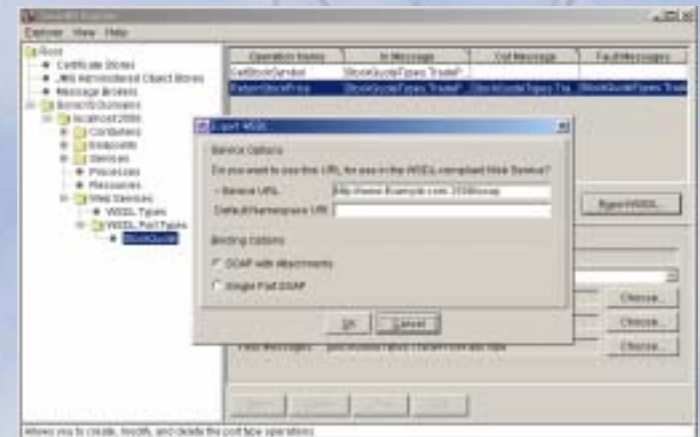
- 単一入力メッセージ → 複数出力メッセージ
- 異なるタイプの出力メッセージ: XML → XML、HTML、テキスト
- メッセージヘッダをアクセス・変更
- XSLTスタイルシートを選択するルールを作成可能
 - JavaScriptで記述
- XSLT拡張
 - Javaで記述
 - “XQHeader”拡張、“XQMessage”拡張
- 単一インスタンス
- ルール・キャッシング

サービス使用例



WSDL生成

1. スキーマファイル(.xsd)を読み込む
2. WSDL Typeを追加
3. WSDL Port Typeを指定
4. WSDL Port Type Operationを定義
5. WSDLドキュメントを生成
 <filename>.wsdl
 <filename>_interface.wsdl
 <filename>_implementation.wsdl



Agenda

- サービスベースアプリケーション
- SonicXQ概要
- ビジネスプロセスフレームワーク
- プロトコルハンドラ
- JCAサポート

プロトコルハンドラ

- **HTTPダイレクト (SonicMQ)**

HTTP ↔ JMSブリッジ

- **SOAPプロトコルハンドラ**

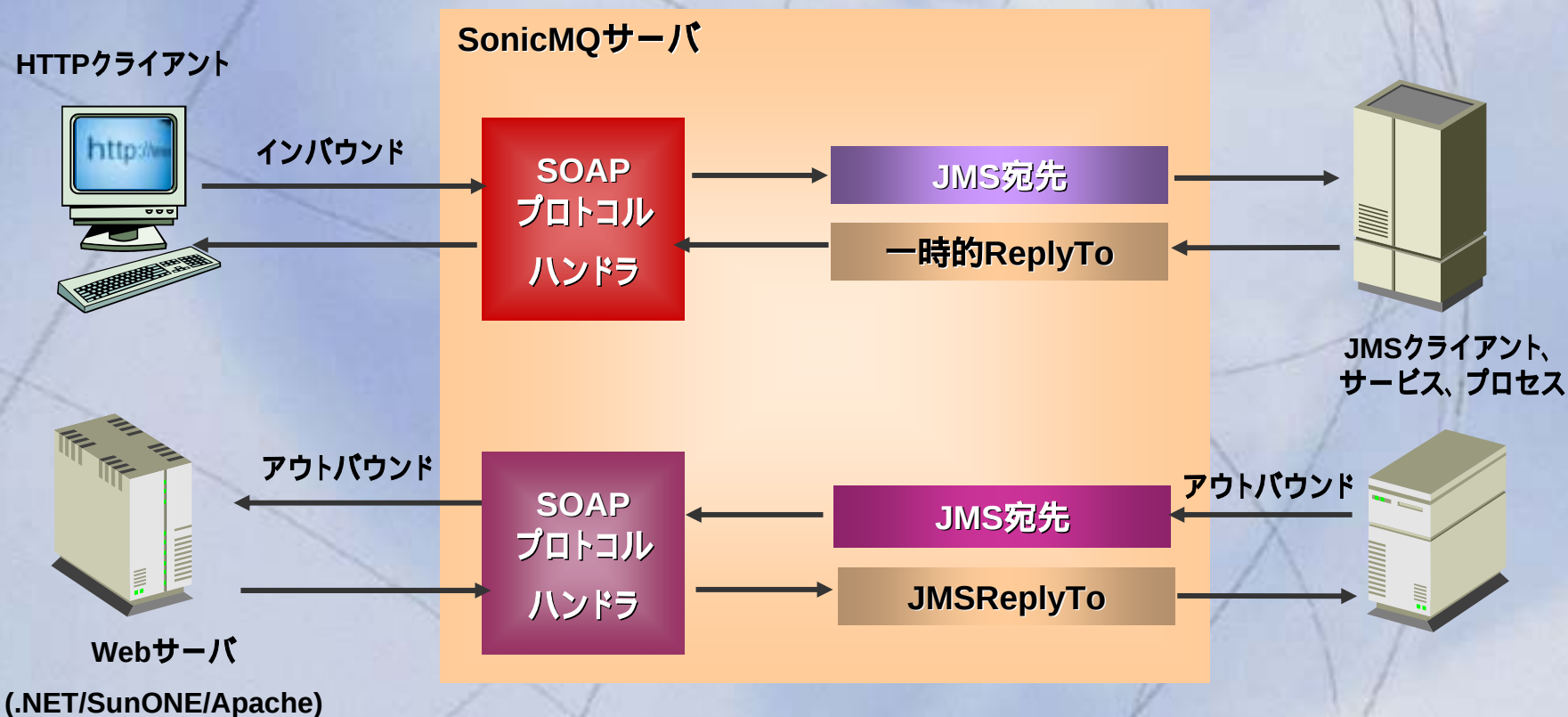
HTTPダイレクト上でSOAPサポート

- 単純なSOAP1.1メッセージ ↔ XMLメッセージ (JMSメッセージ型の拡張)
- アタッチメント付きSOAP ↔ マルチパートメッセージ (JMSメッセージ型の拡張)

- **JMSプロトコルハンドラ**

全てのJMSアクション及びプロパティをHTTPヘッダに埋め込み。
HTTPメッセージを直接トピックやキューに入れることが可能。

プロトコルハンドラ - 典型的な使用例 -



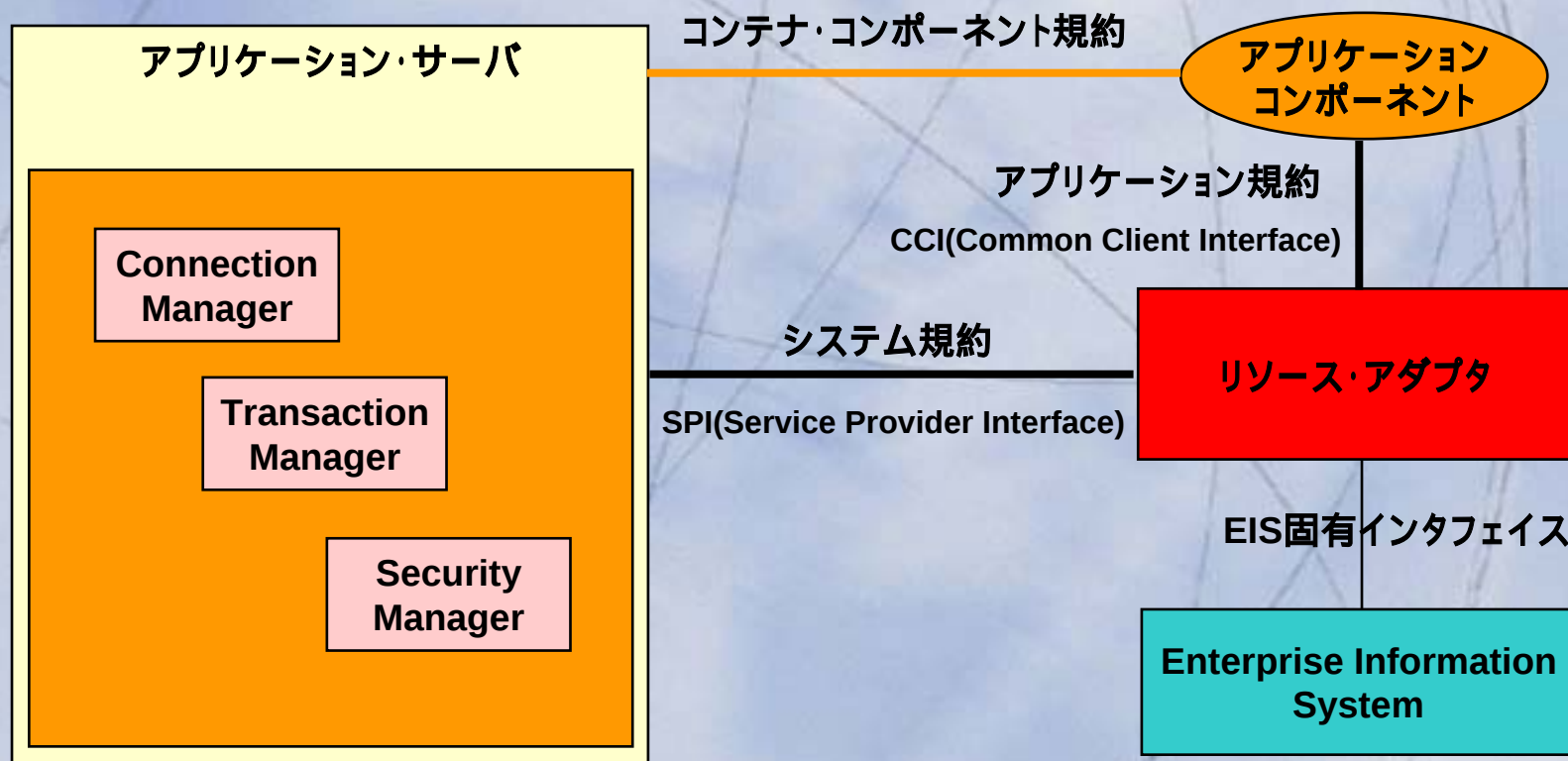
インバウンド、アウトバウンドともに同期、非同期をサポート

Agenda

- サービスベースアプリケーション
- SonicXQ概要
- ビジネスプロセスフレームワーク
- プロトコルハンドラ
- JCAサポート

JCA(J2EE Connector Architecture)

J2EE プラットフォームを異機種システム混在 EIS (Enterprise Information System) に接続するための標準アーキテクチャ



<http://java.sun.com/j2ee/ja/connector/index.html>

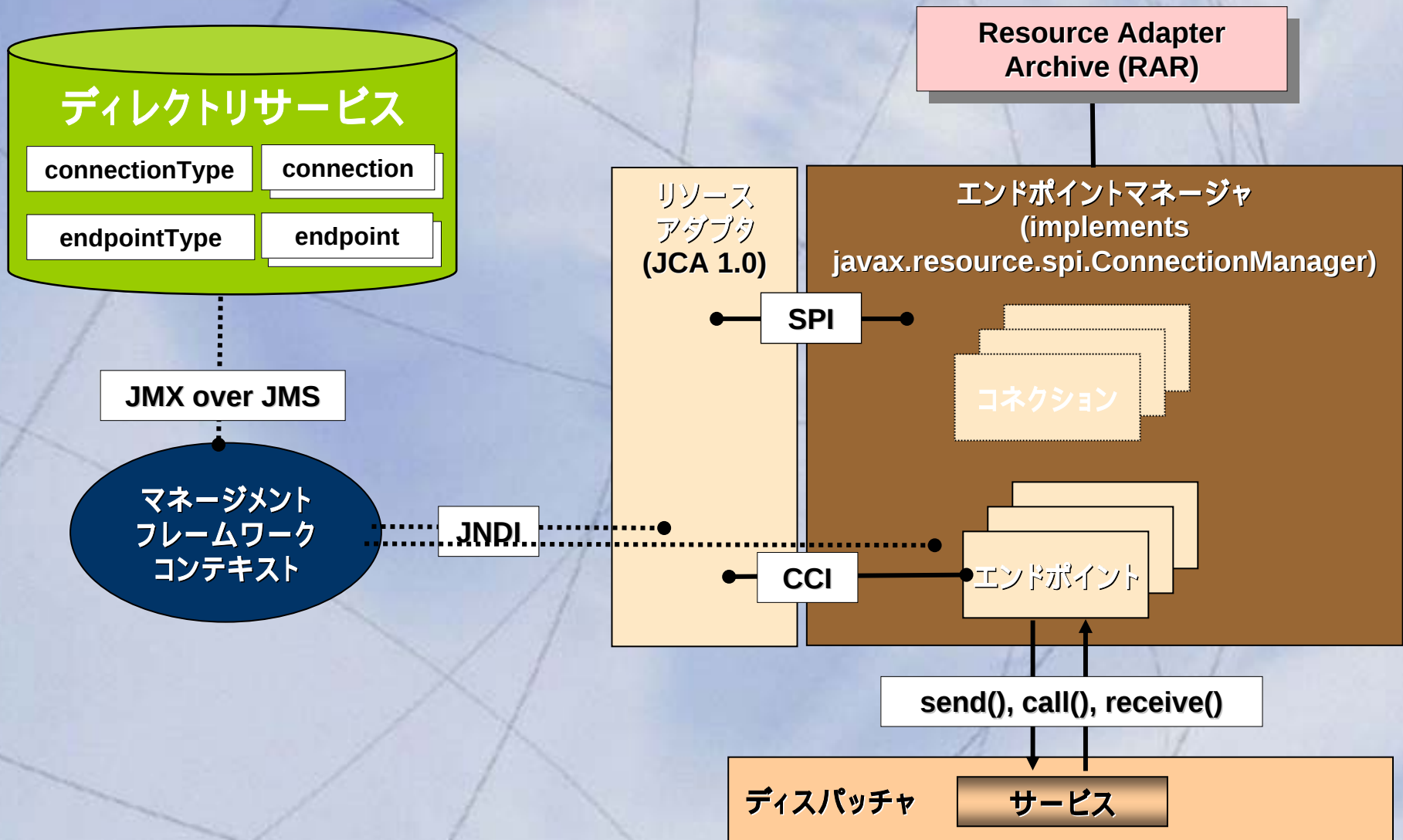
JCAサポート - 特徴 -

- JCA1.0準拠リソースアダプタのホスト
- プリリリースJCA1.5サポート
- JMS - JCA間マッピング
- ビジネスプロセス / サービス - JCA間インタラクション
- 標準ベースでEISをビジネスプロセスに統合
- EISのWebサービス公開
- リモート管理・配置
- 最小限の開発で統合
- JCAとのコミュニケーション方法
 - 非同期送受信
 - 同期送受信
- アダプタのためにGUIツールをカスタマイズ可能

JCAサポート - 提供 -

- JCA1.0準拠アダプタプラグインSDK
- WebLogic EJBリソースアダプタ
- JDBCストアドプロシジャリソースアダプタ
 - サンプルとして提供

SonicXQコネクタアーキテクチャ



お問合せ先

■ 評価版ダウンロード

– http://www.sonicsoftware.com/cgi-bin/sonic.cgi/download_menu.w



eソリューション事業部

ビジネス開発部 sonic製品担当

Tel. : 03-5440-4771

Fax. : 03-5440-4781

E-mail : sonic_info@tk-bay.ogis-ri.co.jp

URL : <http://www.ogis-ri.co.jp/otc/products/sonic/>